

「オープン API のあり方に関する検討会」(第 6 回) 議事要旨

1. 日 時：平成 29 年 2 月 2 日 (木) 10 時 00 分 ~ 12 時 00 分
2. 議 題：API の仕様の標準化について
3. 議事内容：

【議論の方向性】

- 2 年前と比べてこのような場で FinTech 企業側として色々と要望をお伝えさせていただけることは、とても嬉しく思っており、是非皆様と一緒にやっていきたいと思う。
- 色々と議論することがあって、時間もかかると思うが、ある程度合意できる標準を示して、サービスの構築に入ってもらおうというスピード感も大事にして議論していただければと思う。
- お客さまから見て、例えば、残高照会といえばこのような項目だというように、業務の定義をしっかりと定めていないと、混乱を招く部分がある。その意味では、やはり、標準化で最も重要なのは、何を対象に標準化するか、つまりスコープだと考えており、まずその考え方を整理していった方がよいのではないかと。
- 検討のスコープを考えていくときに、目の前に見えている広さに加え、深さ、すなわち時間軸のような概念も含めた 3 次元で考える必要があるのではないかと。
- 利便性を向上するために行う取組みと、セキュリティ対策、消費者保護等の観点で行う取組みについて、どちらの話をしているのかは、折に触れて、確認する必要があるのではないかと。例えば、スコープの議論といっても、利便性について話をしていることもあれば、セキュリティ対策について言っていることもあるかと思う。
- インターネットバンキング上にある情報だけしか API で公開できないという点は利便性の問題ではないかと。勘定系以外も含め、複数のシステムを持っている銀行が、それぞれの情報を API を通じて提供できれば利便性は非常に高まり、それが望ましい。インターネットバンキングを前提としなくとも、他のシステムとつなげられるというのは、採用できる銀行はそちらの方が望ましいと思う。
- ユーザー目線で見たとときに何が正しいのか、それに沿ったかたちできちんとしたセキュリティがあるのかという主従のところ、必ず最初にユーザーの役に立って使われるかという議論ができるとよいと思う。

- FinTech 企業、金融機関が独自性をもって進めるところとの線引きを調整しながら議論を進めてはどうかと考えている。グローバルで進んでいるよいところは取り入れながら、日本固有のうまく使えるところについては、発展的に進められるようにしていくことが大事かと思う。
- 金融機関において、どのような API でつなげていくかに関して、共通的に揃ってなければいけない標準的なものと、自分たちの独自サービスを実現するうえで、金融機関とタイアップをしながら新しいビジネスを立ち上げるものがあると思うので、個別の独自性を持ったサービスも提供されるべきと考える。標準化の中で、どこまでを標準化するのか、独自のサービスを阻害しないようにする配慮も必要かと思っている。
- 多くの銀行が、インターネットバンキングの契約率を引き上げたいと考えていることは認識している。各ベンチャー企業は、インターネットバンキングが使われれば使われるほど、互いにとってよい話だと思っている。一方で、インターネットバンキングを利用するには色々なハードルがある。従来のインターネットバンキングの使いにくさといった面を、API の世代に持ち越さないでほしい。
- 望ましい標準仕様のあり方という議論は非常に大事だと思うが、もう一つ視点として、最低限のセキュリティとして満たさなければならないものについても議論してほしい。例えば、「望ましいセキュリティ基準を満たしていないが、この程度でいいや」という API が提供されたときに、その API がセキュリティ的に大きな脆弱性を抱えていた場合、金融サービス全体の信用にも関わってくる。最低限満たすべき基準、標準のようなものも示したうえで、そのうえで望ましいレベルを示す、レベル感の違いを含めて示すというのも一つの考え方ではないか。
- 最終的なアウトプットを見据えたときに、どこまで仕様に言及するかは論点。インターネットも時間をかけて標準化が進展しつつ現在に至っている。API も、今この瞬間において望ましい仕様を定めることはよいとしても、必ずそうすべしとしてしまうと、5年後には古い仕組みとなってしまう、「日本の API は最悪だ」となってしまうことを危惧する。

【今後の対応】

- 個別に取り組む金融機関がこれから出てくる中、例えば、項目の標準化について、どのような枠組みで検討していくのか、仕様を決めるテーブルのようなものを別途設置して意見交換するのか、本検討会で引き続き討議するのか、今後の検討の枠組みについても重要であると思う。
- 技術が進歩していく中で、セキュリティの基準も変わってくると思うし、中

には標準だと思っていたものに脆弱性が見つかるということも出てくると
思うので、随時メンテナンスをしていくという枠組みを構築をして、継続的
にアップデートできるようにしてほしい。

以 上